

平成25年度

関東・東京合同地区獣医師大会

群馬

獣医学術関東・東京合同地区学会

日本産業動物獣医学会（関東・東京）

日本小動物獣医学会（関東・東京）

日本獣医公衆衛生学会（関東・東京）



【ビジュアルぐんま】から転載

【会期】2013年9月8日（日）

【会場】ホテル木暮（渋川市伊香保町）

【主催】公益社団法人 群馬県獣医師会

共催 公益社団法人東京都獣医師会、公益社団法人山梨県獣医師会、公益社団法人横浜市獣医師会
公益社団法人川崎市獣医師会、公益社団法人茨城県獣医師会、公益社団法人千葉県獣医師会
公益社団法人栃木県獣医師会、公益社団法人神奈川県獣医師会、公益社団法人埼玉県獣医師会

協賛 公益社団法人日本獣医師会

後援 農林水産省、厚生労働省、環境省、群馬県、渋川市

難治性疾患に対する

「パンフェノンS[®](ピクノジェノール[®]含有)」の効果

狩野友秀¹⁾ 松下昌史²⁾ 大川 博³⁾

1)中居動物病院 2)(株)トレードピア 3)(株)スケアクロウ

平成25年度 日本小動物獣医学会

A scenic view of a pine tree on a rocky outcrop overlooking a calm lake with mountains in the background. The pine tree is in the foreground, with its branches extending across the frame. The lake is in the middle ground, reflecting the sky and the surrounding landscape. The mountains are in the background, partially obscured by a light haze. The overall scene is peaceful and natural.

Pycnogenol®

LOOK, FEEL AND LIVE BETTER

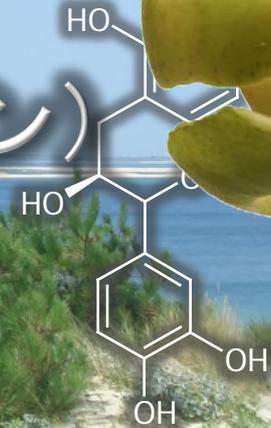
ピクノジェノール®の松の栽培地



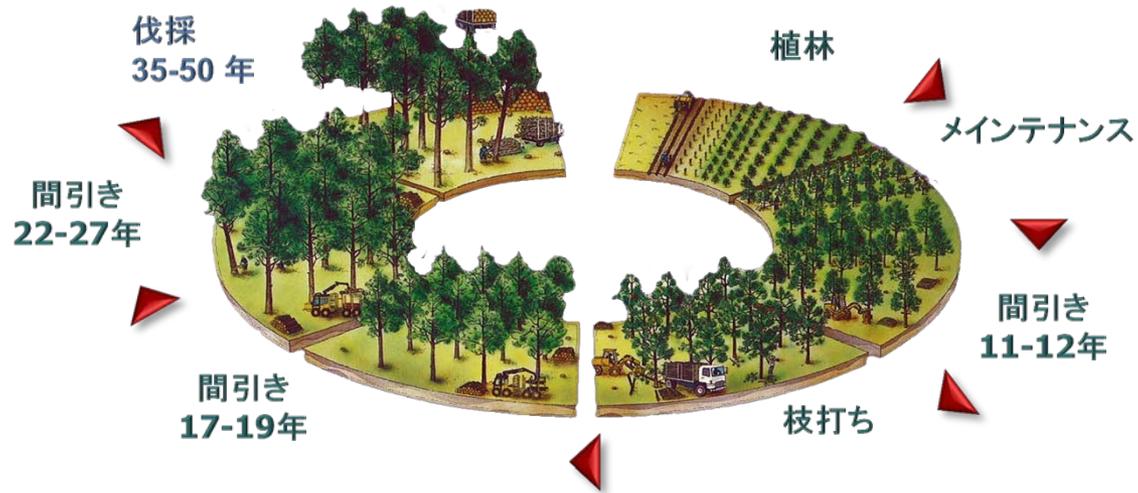
Pycnogenol®

特許取得済み抽出方法

天然抽出物
フラボノイド類（プロシアニジン）
有機酸
カテキン、エピカテキン
タクシフォリン

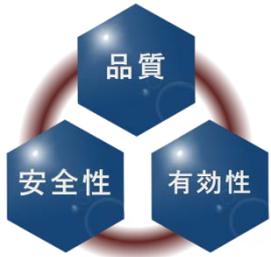


フランスでの専用抽出工場



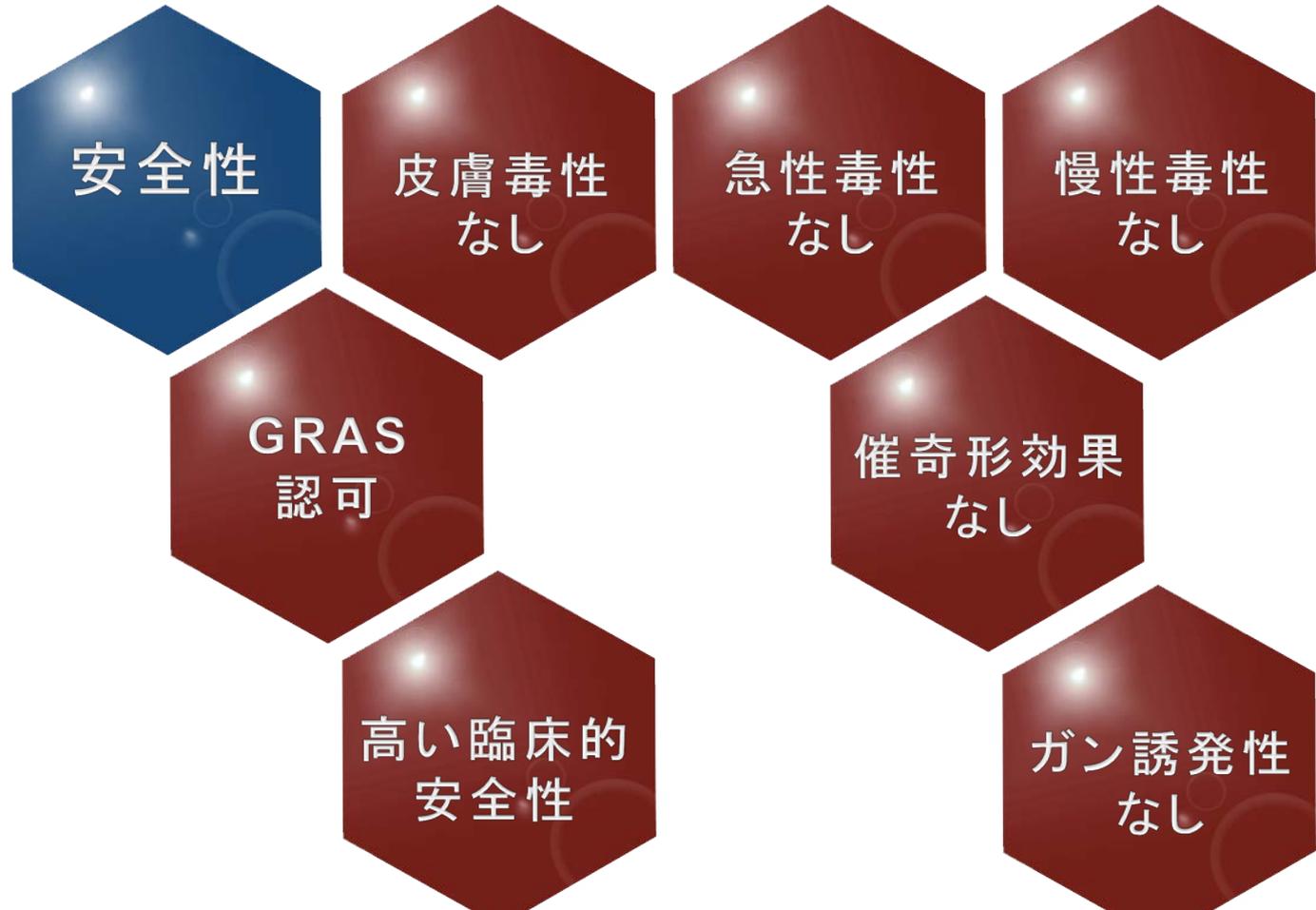
製造能力: 30'000 MT 樹皮 / 年 ⇒ 30 MT ピクノジェノール

ピクノジェノール®の高品質



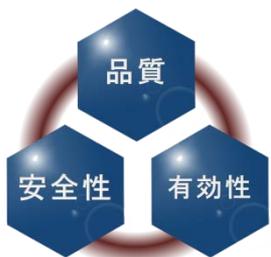
最高な製造・品質管理と安全性。

ピクノジェノール®の安全性



証明された安全性。

ピクノジェノール®の有効性



有効性

100以上
臨床試験
完了

複数の
用途

300+
学術文献
パブリッシュ
済み

研究開発
年間予算
US \$150万

- **心臓の健康**
- **皮膚の健康**
- 循環器の健康
- 認知機能
- **関節**
- **女性疾患**
- スポーツ
- **糖尿病・メタボ**
- アレルギー
-

40年以上の販売暦。

世界中で90カ国以上で販売
されている

数々の臨床試験で証明された有効性。

ピクノジェノール®の第5機能:

① 優れた抗酸化作用



LOOK, FEEL AND LIVE BETTER

ピクノジェノール®の第5機能: ② 血流改善効果



Tunica media:
smooth muscle
cells and elastic
fibers



LOOK, FEEL AND LIVE BETTER

ピクノジェノール®の第5機能: ③ 血糖値を安定する効果



LOOK, FEEL AND LIVE BETTER

ピクノジェノール®

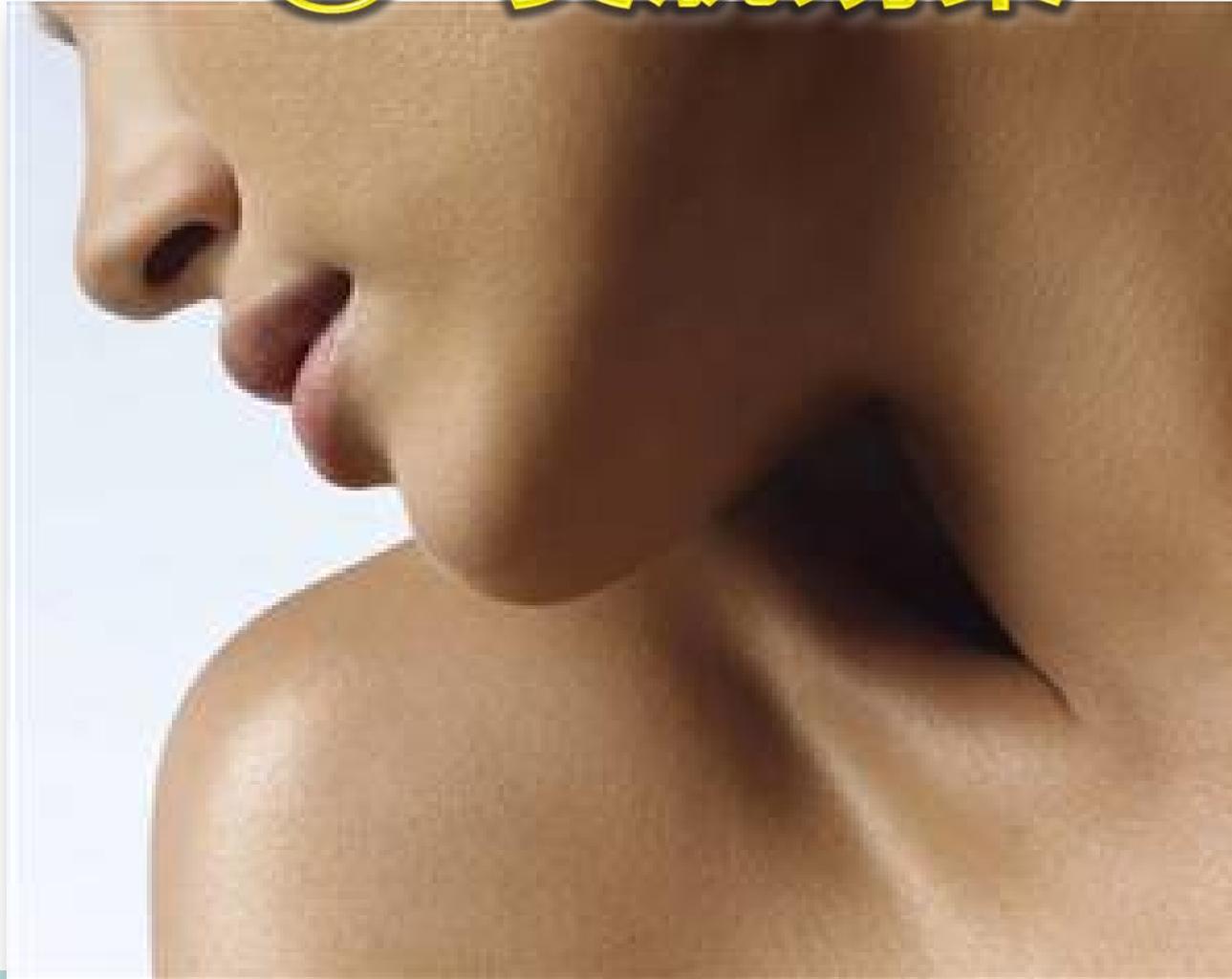
の第5機能:

④ 有力な
抗炎症作用



LOOK, FEEL AND LIVE BETTER

ピクノジェノール®の第5機能: ⑤ 美肌効果



LOOK, FEEL AND LIVE BETTER

ピクノジェノールの抗炎症作用

ピクノジェノール®の抗炎症作用は既に下記の炎症疾患に対して証明されている。

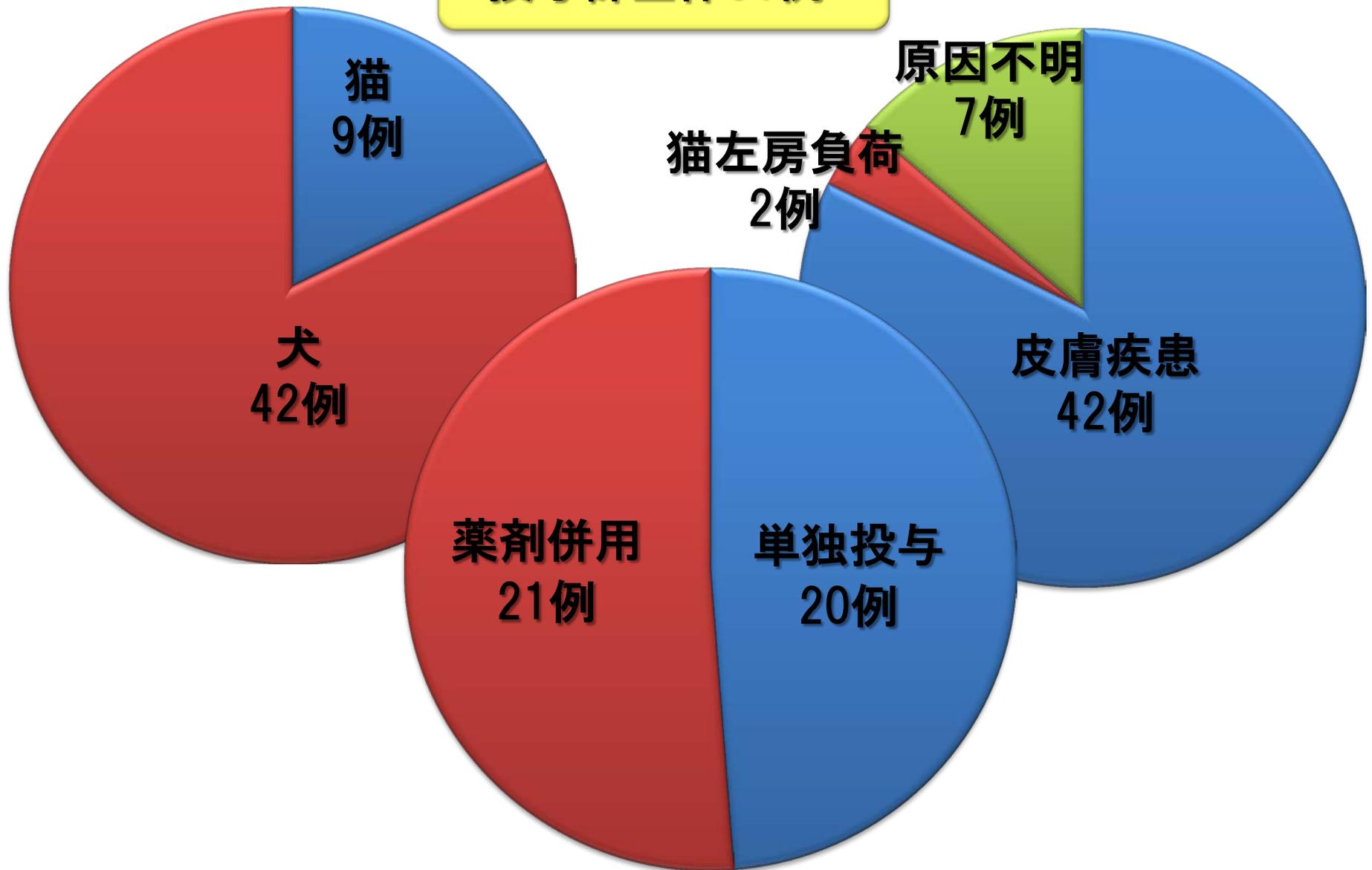
ピクノジェノール®の抗炎症作用を示す試験:

- ❁ 日焼け
- ❁ 月経困難症
- ❁ 骨関節炎
- ❁ 肩こり・五十肩
- ❁ 喘息・アレルギー

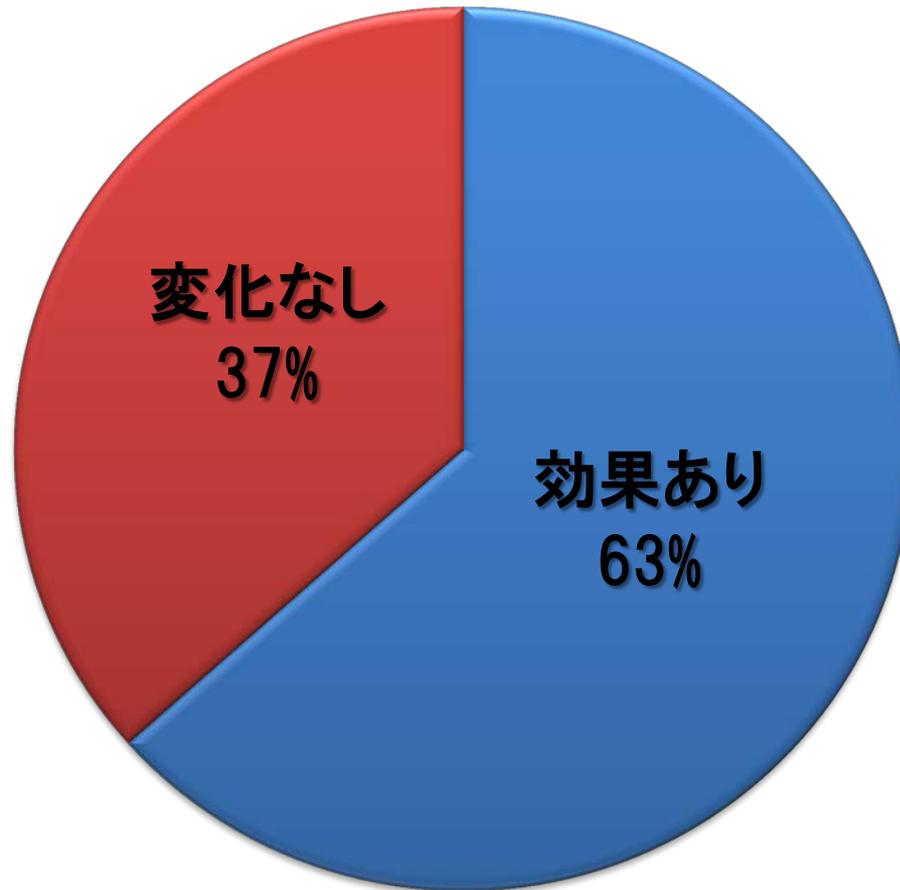
投与結果まとめ

投与群割合

投与群全体51例

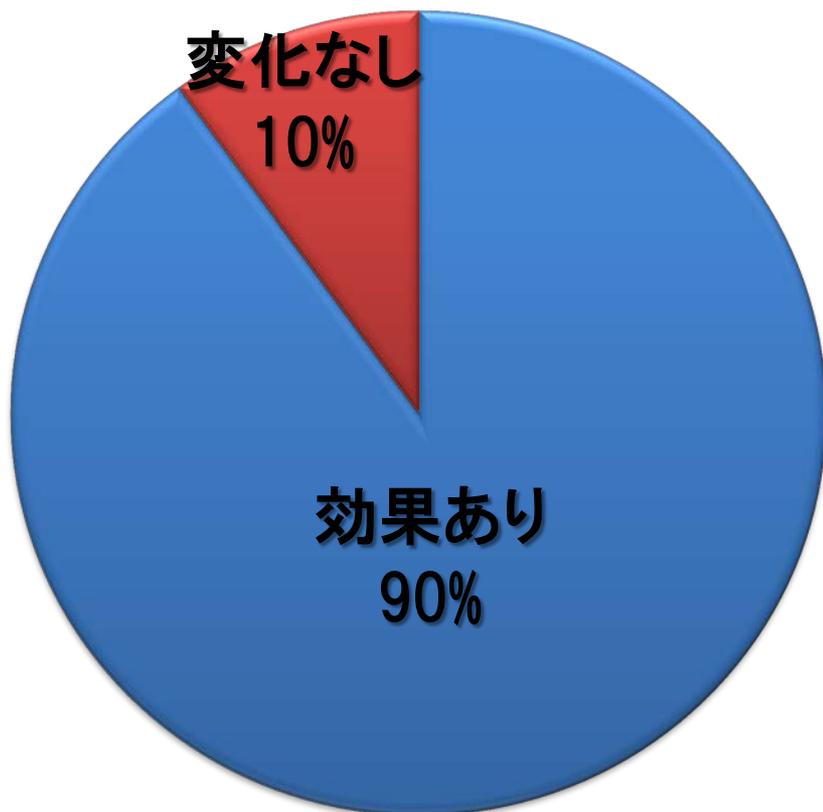


犬皮膚疾患41症例に対するパンフェノンSの効果

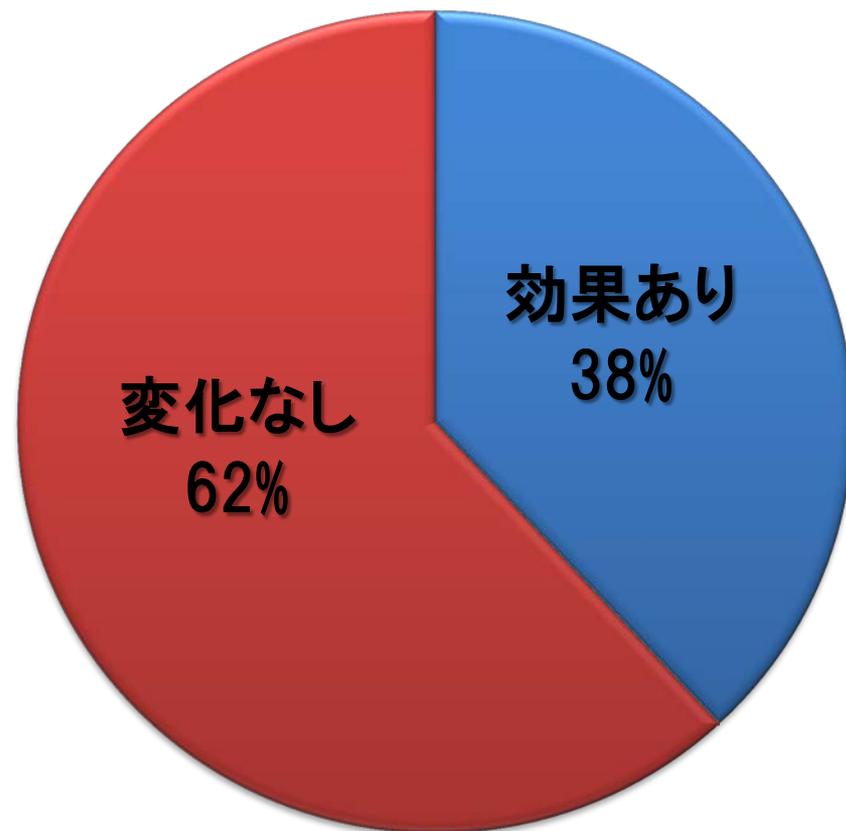


犬皮膚疾患41症例に対するパンフェノンSの効果

単独投与群20例



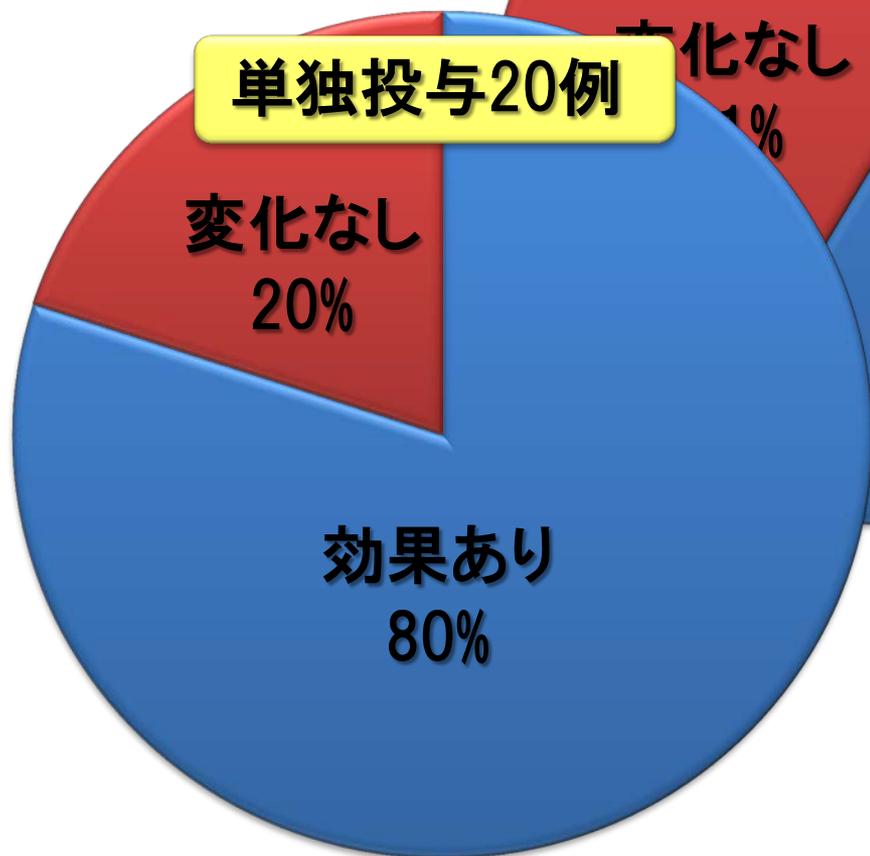
薬剤併用群21例



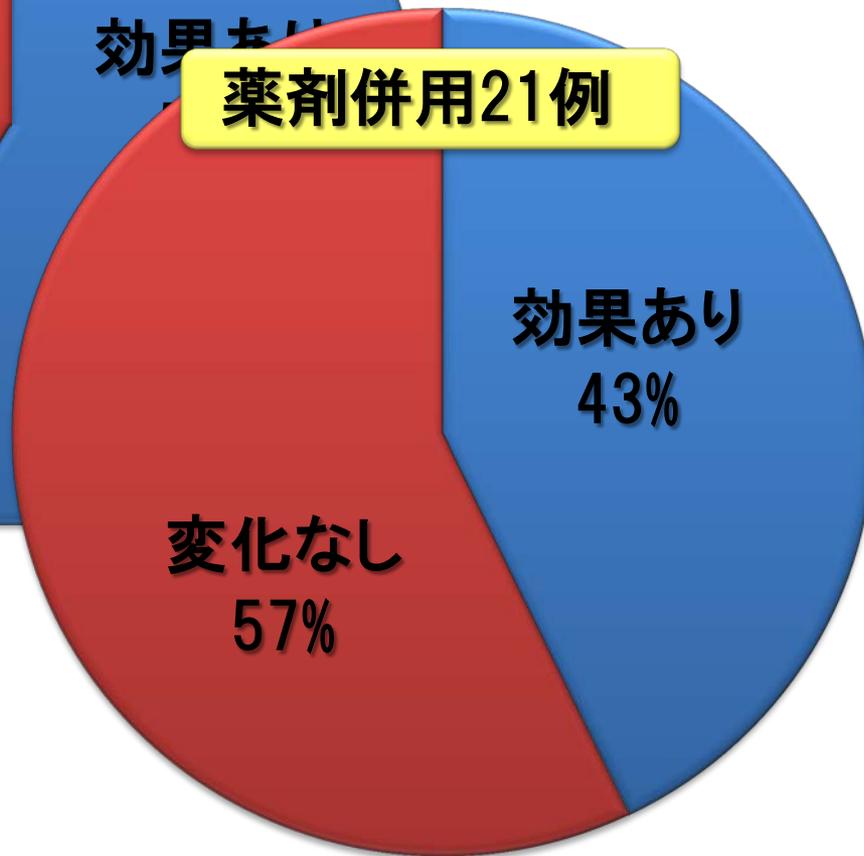
投与結果まとめ オーナ一様主観評価

犬皮膚疾患全41例

単独投与20例

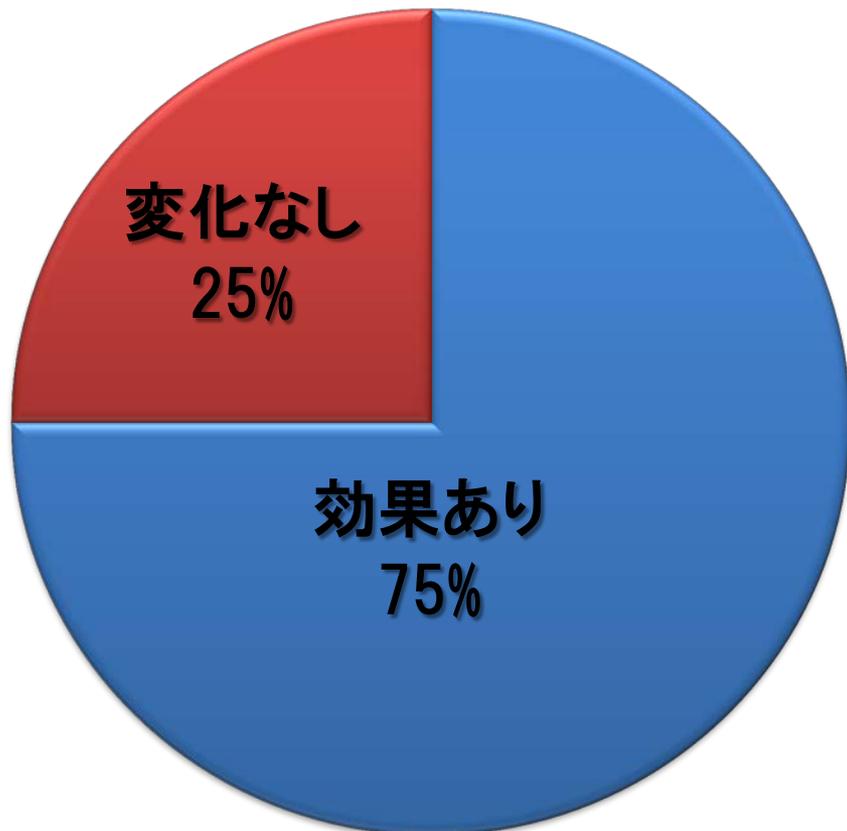


薬剤併用21例

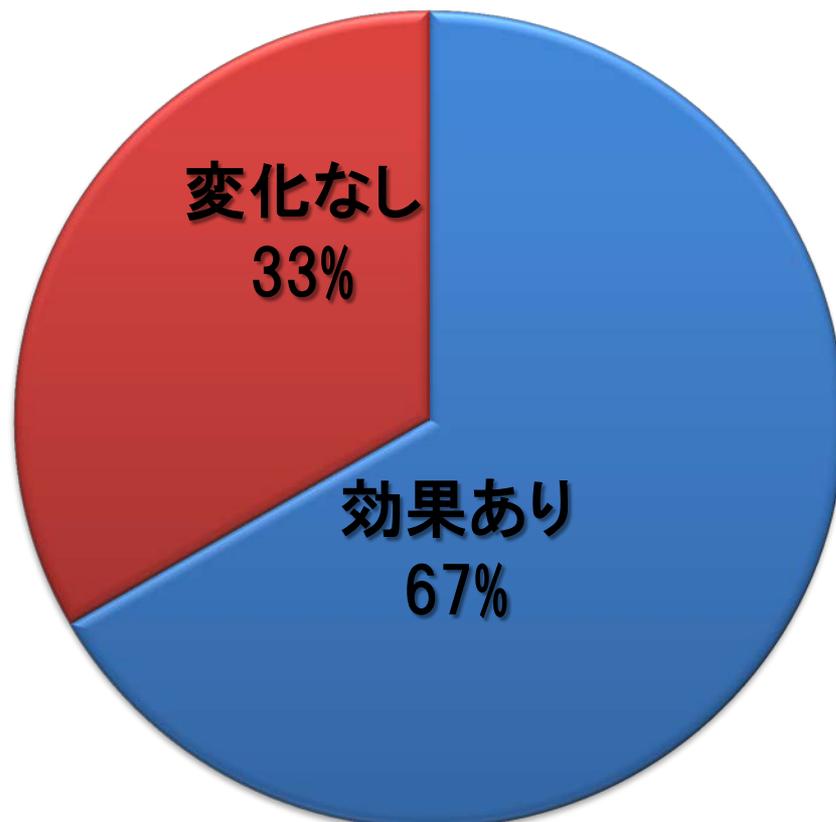


原因不明7症例に対するパンフェノンSの効果

単独投与4例



薬剤併用3例



単独投与郡症例1



- スムースチワワ 4歳 避妊雌
- ワクチンフィラリア予防済み
- 主訴
両側外耳炎
口唇、鼻鏡、両眼周囲の炎症
搔痒有。
- 主食 市販フードのみ
- 治療
2010年 4月20日
パンフェノンS 1錠B/D

治療経過



投薬開始1ヶ月後には掻痒感が無くなるが、流涙、口唇周囲の炎症は改善しなかった。しかし継続投与を行う事で顔面の炎症像も徐々に落ち着きを見せる。現在、一連の症状は出ておらず、S/D継続投与中である。

(写真は2013年7月現在)

併用薬群症例1



- パピヨン 4歳 避妊雌
- ワクチンフィラリア予防済み
- 主訴
流涙、全身搔痒(特に顔面)
- 主食 市販フードのみ
- 既往歴 アジソン病
現在フロリネフ、ステロイド投与中
- 治療
2013年7月20日
パンフェノンS B/D 30日間

併用薬群症例 1

治療経過



投薬10日後には掻痒が落ち着いた。流涙は残るが減少している。
治療中のアジソン病に関して特に症状の変化は現在認められていない。
現在継続投薬中。

単独投与群症例2



- ロングヘアーダックス 1歳
未避妊雌
- ワクチン、フィラリア予防済み
- 主訴
顔面搔痒、両外耳炎、四肢自舐
- 主食 一般フードのみ
- 治療
2013年 7月16日
パンフェノンS B/D 30日間

治療経過



投薬開始1週間くらいより搔痒減少、外耳炎終息した。首周りの搔痒は残る。
継続投薬中。

単独投与群症例3



- ロングコートチワワ 4歳 避妊雌
- ワクチン、フィラリア予防済み
- 主訴 2007年 4月
左右結膜浮腫、両眼瞼炎、流涙
四肢先端自舐
年齢の割には動かない
- 主食 一般フード＋副食
- 治療
パンフェノンS B/D
食事指導 シャンプー療法

治療経過



投薬開始1ヶ月で流涙、外耳炎は落ち着いたが、四肢の病変は消失するのに3カ月を要した。現在は投薬6年目となるが、以前認められた症状は消失し、動きも活発になっている。食事管理も気を使うようになった。右の写真は2年前に急性胆管開口部閉塞を患い入院治療した時のものである。

また、難治性免疫疾患の疑いをインフォームドする場合、多くのオーナーは事実を理解する理性を保てないような気がする。

そこで、難治性免疫疾患についてより柔軟に理解して頂く術として、健康免疫食品の処方も効果的であると考える。

獣医臨床における パンフェノンS[®]の使用経験

犬の難治性疾患に対するパンフェノンSの有用性(19頭)

2006年 日本獣医臨床病理学会

(日本獣医生命科学大学 藤田道郎ら)

僧帽弁閉鎖不全犬に対するパンフェノンSの有用性(12頭)

2009年 日本獣医臨床病理学会

2009年 日本獣医内科学アカデミー

(日本獣医生命科学大学 小山秀一ら)